

12月のお誕生会

12月4日（木）は12月生まれのおともだちのお誕生会でした。

ちゅうりっぷ組 たんぽぽ組 ひまわり組のみんなでお祝いしました。



おたんじょうび おめでとう！
たくさんインタビューしましたよ。

お楽しみ会は「冬の国探検」でした。
みんなで楽しく冬の国を探検をしました。



もも組 すみれ組 さくら組 ふじ組のお誕生会もみんなでお祝いしました。
おめでとうございます！ひとつ大きくなりました。



インタビューや歌のプレゼントの後、お楽しみ会は「パネルシアター『十二支のはじまり』」でした。

昔々のお話です。神様が森の動物たちに「お正月の朝、わしの家まで来なさい。早く来たものから順に一年ごとに動物の大将にしてあげよう。」と言いました。

遅れてきた猫がネズミに神様の話は何だったのか尋ねました。すると、ネズミは「なんでも、お正月の次の日の朝に神様の家に早く来た動物を、一年ずつ動物の大将にしてくれるそうだよ」とウソを教えました。

「僕は足が遅いから、早めに出発しよう」まじめな牛はそう言って夜のうちに出発することにしました。それを見ていたネズミは「しめしめ」と言って、こっそり牛の背中に乗りました。



牛が「やったあ、僕が一番だ！」牛がそう思った瞬間、ぴょーんと牛の背中からネズミが飛び降りて、はじめにゴールしました。こうしてネズミが1番、牛が2番になりました。続いて、トラ、ウサギ、辰、ヘビ、馬、羊、サル、トリ、犬、イノシシが順番に動物の大将となることになり、これが十二支となりました。さて、お正月の次の日、猫が神様の家にやってきましたが、競争は終わっていました。ネズミにだまされたことに気づいた猫は怒って、それからというもの、ネズミを見かけると追いかけるようになったといいますよ。

